



採らない・食べない
～毒キノコ～

キノコの季節です。区内でも多くのキノコが採れますが、同時に、キノコによる食中毒に注意しなければなりません。札幌市では、キノコによる食中毒を防ぐため、パンフレットなどで注意を呼び掛けています。



食中毒を防ぐためのポイント

- 確実に食用と分かるものだけを探る。
- 知らないキノコは人にあげない、食べない。
- 食用でも、古くなったものや大きくなったものは食べない。
- 見分けられないときは専門家に鑑定してもらう。

迷信・俗説

縦によく裂けるキノコは食べられる。
虫に食われていれば大丈夫。
ナスと一緒に料理すれば食べられる。



これらの説は**すべて誤り**です。

地域保健課で、キノコの相談を受け付け中。

ホームページ「きよたF an倶楽部」の「健康アドバイス」にも関連情報掲載中。(http://www.city.sapporo.jp/kiyota)

地球を取り巻くオゾン層は、生物に有害な太陽からの紫外線を吸収し、地上の生態系を保護しています。しかし近年、特に南極の上空では、オゾン層の破壊が著しく、オゾン層が薄くなる現象(オゾンホール)が観測されています。オゾン層が薄くなると、有害な紫外線を通しやすくなり、その結果、皮膚ガンや白内障の増加といった人体への影響や、動植物の生育の阻害などが懸念されています。オゾン層を破壊する最大の

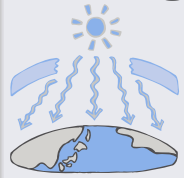
フロン放出による

環境への影響

原因は、クーラーや冷蔵庫、スプレーなどに使用されていた、特定フロンです。特定フロンが大気中に放出されると成層圏に達し、紫外線を浴びて塩素を出し、これがオゾン層を破壊するのです。放出された特定フロンが成層圏に達するまでには、長い時間がかかります。今、オゾン層を破壊しているのは、十年から二十年前に、わたしたちが使っていた特定フロンなのです。このため、特定フロンに代わって登場したのが、代替フロンです。しかし、代替フロンは、オゾン層を破壊しないものの、二酸化炭素の千倍以上の温室効果を持つ物質で、



大気中に放出されると地球温暖化の原因となります。



フロン回収破壊法が

今月から完全施行されます

今年四月から施行されている「フロン回収破壊法」。この法律は、業務用冷凍空調機器やカーエアコンの冷媒として使われている、特定フロンや代替フロンの放出を防止し、オゾン層の保護と地球温暖化の防止を図るものです。

完全施行される今月から、カーエアコンの付いた自動車を廃車にする場合、所有者はコンビニなどで「フロン券」を購入(普通乗用車で二千五百八十円)し、フロンの処理費用を負担するとともに、登録を受けた引き取り業者にフロンの処理を依頼しなければなりません。

オゾン層の保護と地球温暖化の防止。子どもたちの世代に大きな付けを残さないためにも、フロンの適正な回収と処理が必要となっています。

広告欄